

総合的な学習の時間全体計画

関係法規等
日本国憲法 教育基本法 学校教育法 学習指導要領 県・みよし教育ビジョン ～三次「夢人」育て～ 三次市子どもの未来応援宣言
保護者・教職員の願い
○自分で考え判断し、行動できる強さを期待する。 ○夢と希望をもち、たくましく生きる力を育成してほしい。
地域の願い
○自己に対する自尊感情とともに、地域に誇りをもち、地域に貢献する子どもを育成してほしい。

学校教育目標
ふるさとに学び たくましく生きる子どもの育成 ～元気 本気で 最後まで～

学校の実態
○中学校区に保育所・小学校・中学校が各1つあり、連携をとりながら取組をすすめている。 ○自然環境・地域教材に恵まれている。
児童の実態
○何事も意欲的にまじめに取り組む児童が多い。 ○全体的に自己肯定感が高いが、高学年では自尊感情の低い児童がいる。 ○じっくり考えて行動したり、自分の思いを適切な言葉で表現したりすることが苦手な児童がいる。 ○大きな声で挨拶や返事をしたり、全体の前ではっきりと話したりすることが苦手な児童がいる。
地域の実態
○少子高齢化と過疎化が進み、地域の自立と活性化に危機感がある。

総合的な学習の時間の目標
探究的な見方・考え方を働かせ、作木の人、もの、ことに関わる横断的・総合的な学習を行うことを通して、主体的に課題を解決し、自己の生き方を考えることができるようにするために、以下の資質・能力を育成する。 ○作木の「人、もの、こと」に関わる探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識・技能を身に付けさせると共に、作木のよさや、それが作木の人々の努力や工夫によって支えられていることに気付かせる。 ○作木の自然と作木に暮らす人々との関わりの中から、自ら課題を見つけ、根拠を明らかにして表現したり、自分の考えを再構成したりする力、協同的に課題を解決する力を身に付ける。 ○学び方やものの考え方を身に付け、作木の人、もの、ことについての探究的活動に主体的・創造的・協同的に取り組むと共に、自分らしさに気付き、夢や目標に向かって努力しようとする態度を育てる。

[各教科等との関連]
〔国語〕 ○自分の思いや考えが相手に伝わるように話したり書いたりして表現する。 ○インタビュー・書籍等の情報収集から、整理しまとめる。 ○相手が考えたことや伝えたいことなどを正確に聞く。
〔社会〕 ○社会事象に関心をもち、進んで調べようとする。 ○統計・資料等を読み取ったり活用したりする。 ○観察や調査したことがらを関連付けて考察する。 ○調べたことを目的に合った方法で表現する。
〔算数〕 ○調べたり試したりして課題を解決していこうとする。 ○目的に合わせて表やグラフで表す。 ○見通しをもち、筋道を立てて考える。
〔理科〕 ○自然の事象に関心をもち、進んで調べようとする。 ○見通しをもって観察や実験などを行う。 ○解決過程や結果について考えたり話し合ったりすることを通して、問題を解決する。
〔音楽〕 〔図画工作〕 ○鑑賞の活動を通して、感性を働かせながら、文化の理解やつくりだす喜びを味わう。
〔家庭〕 ○家庭生活を大切にすることを育み、家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、生活をよりよくしようとする工夫する実践的な態度を養う。
〔体育〕 ○運動や健康についての自己の課題を見付け、その解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
〔外国語活動・外国語〕 ○背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら、主体的にコミュニケーションを図ろうとする。 ○実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付ける。
〔道徳〕 ○生命尊重 ○働くことの大切さを知る。 ○自然のすばらしさや不思議さに感動し、自然を愛する。 ○郷土の文化、伝統を大切に、郷土を愛する心を育てる。
〔特別活動〕 ○自分の考えを進んで発表する ○話し合いの仕方 ○集団をよりよい方向へと高めていこうとする意欲・自立的態度 ○自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする。

学年	第 3 学 年	第 4 学 年	第 5 学 年	第 6 学 年	
テーマ	作木ふるさと学習「作木のお宝発見！」 ～作木の人・もの・こと～				
内 容	探究課題	作木の特産品はこれだ！	作木の野鳥 ～「ブッポウソウを県の鳥に」プロジェクト～	共に生きる～みんなが住みやすい作木をめざして～	作木の町を知ろう！過去・現在・そして未来
	資質や能力及び態度 育てようとする	作木の特産品の素晴らしさやそれらを守る人々の工夫・これまでの作木のくらしが分かる。 作木の特産品や人々の工夫から課題を見つけ、調べたり考えたりしたことを表現している。 地域の人々の生き方にふれ、自分らしさに気付く、進んで地域に関わろうとする。	ブッポウソウの現状や保護活動をする人々の工夫や努力、保護活動の必要性が分かる。 ブッポウソウについて情報の収集、分類、整理を行い、絶滅させないためにできることを考え、分かりやすく表現している。 地域の自然や自然を守る人々に積極的に関わろうとし、自分にできることに気付き、実践しようとする。	作木の町の現状やそれに携わる人々の活動や工夫・願いが分かる。 作木の町の現状や人々の活動から課題を見つけ、情報を整理・分類し、調べたことや考えを効果的に表現している。 みんなが住みやすい作木にするために地域の一員としてできることに気付き、実践しようとする。	作木の歴史や史跡を知り、作木の未来像と自分たちの生活との関わりが分かる。 よりよい作木に向け課題を見つけ、情報を整理・分析し、過去と現在を関連付けて考察し、効果的に表現している。 よりよい未来にするために地域の一員としてできることを人との関わりの中で実践しようとする。
	学習活動	・作木の特産品について関心をもち、課題を設定する。 ・作木の特産品を調べたり、体験したりする。 ・特産品と暮らしのかわりを調べる。 ・学んだことを伝える。 ・振り返る。	・ブッポウソウに関心をもち、課題を設定する。 ・森の宝石「ブッポウソウ」を守るために、自分たちができることを考える。 ・地域で自然を守るために活動する方々と関わりながら、情報収集等を行い、分かりやすく表現する。 ・学んだことを伝える。 ・自分の成長を振り返り表現する。 ・振り返る。	・作木の町や人について関心をもち、研究課題を設定する。 ・作木をよりよくするために活動する地域の方々から学ぶ。 ・積極的に聞き取りや見学を行い、課題について調べる。 ・作木の施設や人について調べ、高齢者との交流会等のボランティアに取組む。 ・学んだことをまとめ、発信する。 ・振り返る。	・作木の歴史や歴史的建築物について関心をもち、研究課題を設定する。 ・作木をよりよくするために活動しておられる地域の方々から学ぶ。 ・積極的に聞き取りや見学を行い、課題について調べる。 ・職業インタビューをする。 ・地域の一員としてできることを考え実践する。 ・学んだことをまとめ、積極的に発信する。 ・振り返る。

[指導方法]
・体験を通じた情報収集の重視と新たな課題を生み出す体験活動の工夫 ・言語活動の重視と体験の意味の自覚化 ・学びのサイクルの定着 ・教科との関連的な指導の重視
[学習の評価]
・ポートフォリオ ・ワークシート ・指導と評価の一体化の充実
[指導体制]
・担任外の教職員による支援体制 ・地域人材の効果的運用、保護者による協力体制の充実 ・地域の中学校との関連

[地域との連携]
～保護者・地域の方々との連携～ ・一般社団法人作木町自治連合会 ・川の駅 常清 ・元気むら さくぎ ・作木駐在所 ・文化センター さくぎ ・作木支所、J A作木支所、消防作木出張所 ・江水園 ・社会福祉協議会 ・伊賀和志神楽団 ・東光坊
[保幼・小・中との連携]
・さくぎ保育所 ・作木中学校